

# ～第13回島崎藤村記念文芸祭 入賞作品の紹介～

問 文化振興課 (☎内線4318)

1500点を越える応募作品の中から、次の作品が入賞しました。たくさんのご応募ありがとうございました。また各部門の佳作を含めた作品の数々は「第13回島崎藤村記念文芸祭 入賞・入選作品集」で読むことができます。市役所文化振興課で販売しています (1冊500円)。

## 応募作品数

【現代詩部門】	一般の部：122編	小中学生の部：123編
【短歌部門】	一般の部：289首	小中学生の部：261首
【俳句部門】	一般の部：190句	小中学生の部：488句
【エッセイ部門】	一般の部：100作品	
【創作部門】	一般の部：67作品	

# 俳壇・歌壇

## かやの木

俳句・短歌のルビは文化振興課で付しています。

### 俳句部門 福井 英敏 選

【一般の部】	特選 放牛の背ナに晩夏のきつね雨 前田 文香(中津川市)
一席 海風て鳥の路地ゆく薄暑かな 奥苑ゆき子(可児市)	
二席 木の国に生まれ蟬聴く日日平ら 田中 美緒(中津川市)	
三席 葛の葉や村にまだある底力 奥村 幸恵(愛知県)	
【小中学生の部】	特選 食たくの窓に広がる花火かな 荒井 希唯(西小)
一席 シャーペンをやけにこだわる受験生 大山 竜輝(坂下中)	
二席 あさがおがきようもさいたよいちにさん 上山 陽大(坂本小)	
三席 じいちゃんの庭から届くびわの箱 田中 知優(加子母中)	

### 短歌部門 大塚 寅彦 選

【一般の部】	特選 メールボックスけふは空つぽ 未明には射手座に星の流るといふ 安藤なを子(愛知県)
一席 後悔をひきずったままの失恋を笑うように鳴く白い鳴き砂 新回 詩乃(山口県)	
二席 あの頃はよかったねえと言う君と微妙にずれるあの頃のこと 志津 美恵(中津川市)	
三席 幾度も針をさされしわが腕の血管いかりてかたくなりたり 神出 典子(飛騨市)	
【小中学生の部】	特選 円描き螢一ぴき飛んできた私の心もほのかに光る 西尾 柚葉(福岡中)
一席 放課後の自分の影がなくなる夕焼けの色にそまった自分 川上 太雅(第一中)	
二席 夏の夜月に向かって歌ってる水から出てきた合唱団員 福嶋 汰希(落合中)	
三席 帰り道話がつきず座りこむゆうやけこやけ聞こえないふり 長瀬 光来(福岡中)	

### 創作部門

大島 一洋 選

【一般の部】	一席 ふろしきをしまったカッパ しいなさいち(山梨県)
二席 拾った手紙 吉岡 幸一(福岡県)	
三席 ムダな時間の必要性 海見みみみ(東京都)	

### エッセイ部門

吉村 登 選

【一般の部】	特選 闘病記 佐藤 治秀(中津川市)
一席 叔母の記憶 北村 里絵(千葉県)	
二席 彼女と出会えたことで 蒼樹ほのお(北海道)	
三席 山に想う 篠木 文隆(愛知県)	

### 現代詩部門

伊藤 芳博 選

【一般の部】	特選 65cmのきみへ ますを居候(東京都)
一席 六月のコップのことについて ―すべては水の中の出来事― 野口 敬生(愛知県)	
二席 道しるべ あべわかこ(福島県)	
三席 時の迷子 中村もとい(岐阜市)	
【小中学生の部】	特選 こころのこびん 長谷川脩紀(付知中)
一席 月 宮田 三輝(付知中)	
二席 涙 松原 ゆい(第一中)	
三席 月のうさぎ 菱田 幸宏(第一中)	